

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス パンジー		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭への支援	送迎時、モニタリングの時等、保護者様に話を聞き家庭状況を把握すると共に、学校や相談支援とも共有しお互いの情報をもっている	今後も様々な家庭環境に置かれるご利用者様に対応する為に、市役所の児童家庭支援課や児童相談所、病院とも連携を図っていきたい。
2	安心して通所出来る雰囲気	・職員との信頼関係が安定しており、落ち着いて過ごせる環境が整っている ・一人ひとりの特性に配慮した関わりで、不安を感じにくい雰囲気がある。	・環境調整(刺激・配置・距離感)への配慮
3	療育活動(イベント)の充実	・日常生活活動動作(身支度・片付け・買い物等)を通じた実践的な療育 ・クッキングやレクリエーションを取り入れた、楽しさの中で学べる活動提供	・療育内容の振り返りと改善を定期的に行い質の向上をはかる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全面の危機管理	職員間での情報共有不足や経験差による対応にばらつき	・事前にリスクを想定し、活動前に危険ポイントを職員間で共有する
2	新しい職員が多い為、周知不足がある。	退職ではなく、人事異動で先輩職員が随時異動していく為、個別支援の周知を含め、一定の支援レベルまで達しにくい。	個別支援計画については新人職員でも周知しやすい方法を検討中
3	療育活動実行者が一部にかたよっている	日々の業務に追われ、振り返りや引継ぎの時間が不足している	振り返りの時間を確保し、「誰でもできる療育」を意識した支援体制づくりをしていく